



北海道財務局
公式マスコットキャラクター
「きたまるん」

オホーツク圏経済情勢報告（令和8年10月判断）

令和8年11月 公表

財務省北海道財務局北見出張所

目　　次

概況	……	2
1. 個人消費	……	3、4
2. 観光	……	5
3. 雇用	……	6
4. 公共事業	……	7
5. 住宅着工	……	7
【参考】金融	……	8

○利用上の注意

1　数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。

2　本指標は、管内分の数値等を算出するため、公表数値等を当所が独自に集計及び調整したものであり、公表元の数値と必ずしも一致しない部分があります。
また、公表数値が不定期に改訂されることもあります。

○符号の用法は次の通りです。

「0」～単位未満　　「－」～該当数値なし　　「R」～改訂値　　「▲」～マイナス　　「P」～速報値

オホーツク圏経済情勢報告（令和8年10月判断）概況

総括判断

前回（8年7月判断）	前回比較	今回（8年10月判断）
持ち直しつつある	⇨	**持ち直しつつある**

※ 判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、**14期連続**

各項目の判断

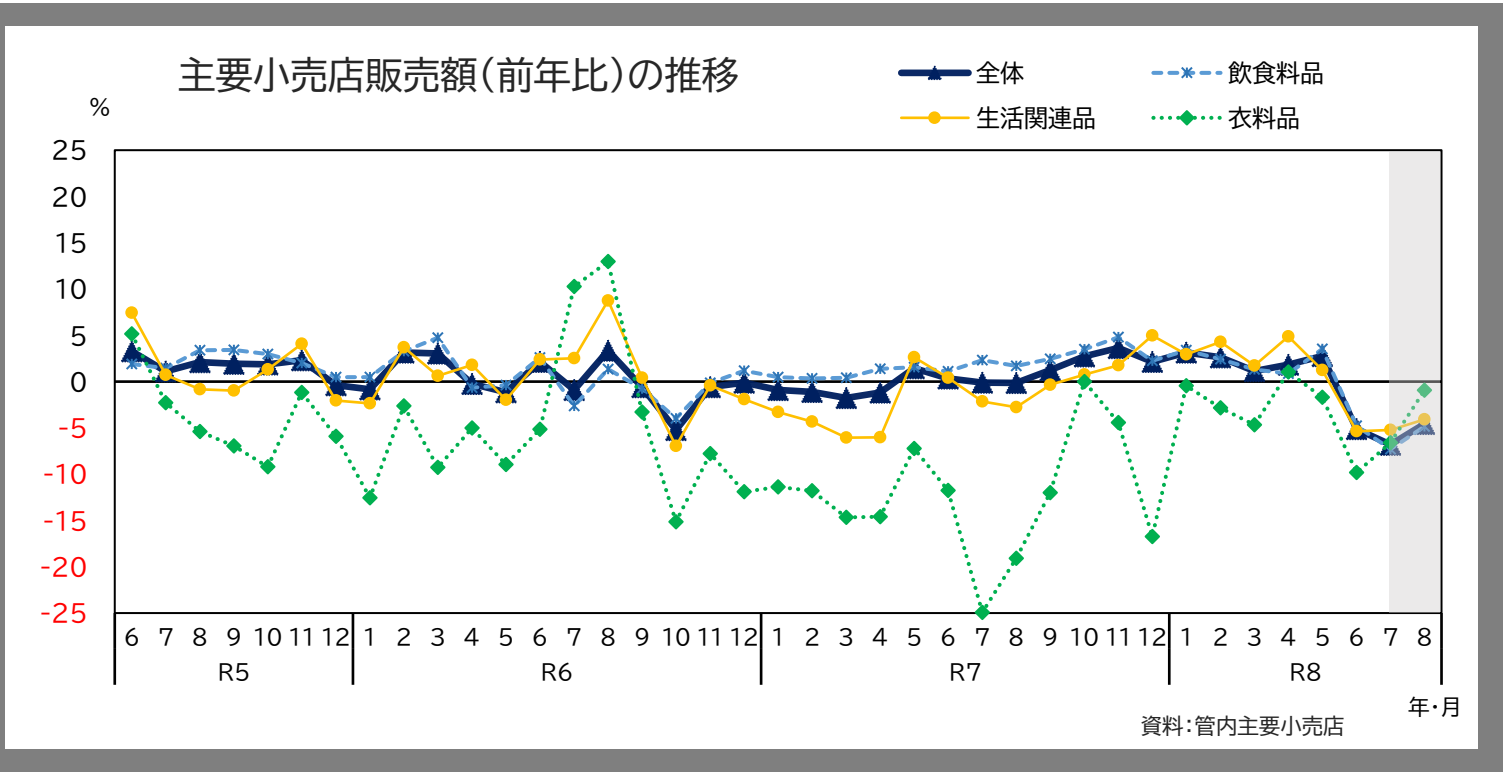
	前回（8年7月判断）	前回比較	今回（8年10月判断）
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	⇨	**物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある**
観　　光	回復している	⇨	**回復している**
雇　　用	緩やかに持ち直しつつある	⇨	**緩やかに持ち直しつつある**
公共事業	前年を下回る	⇨	**前年を下回る**
住宅着工	前年を上回る	↘	**前年を下回る**

先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を引き続き注視する必要がある。

（注）8年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1. 個人消費　～物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある～



【前年同期比（7-8月）】

全体　：▲ 5.7%

飲食料品　：▲ 6.0%

生活関連品　：▲ 4.7%

衣料品　：▲ 3.9%

【販売額構成比（7-8月）】

飲食料品　：73.8%

生活関連品　：22.6%

衣料品　：3.5%

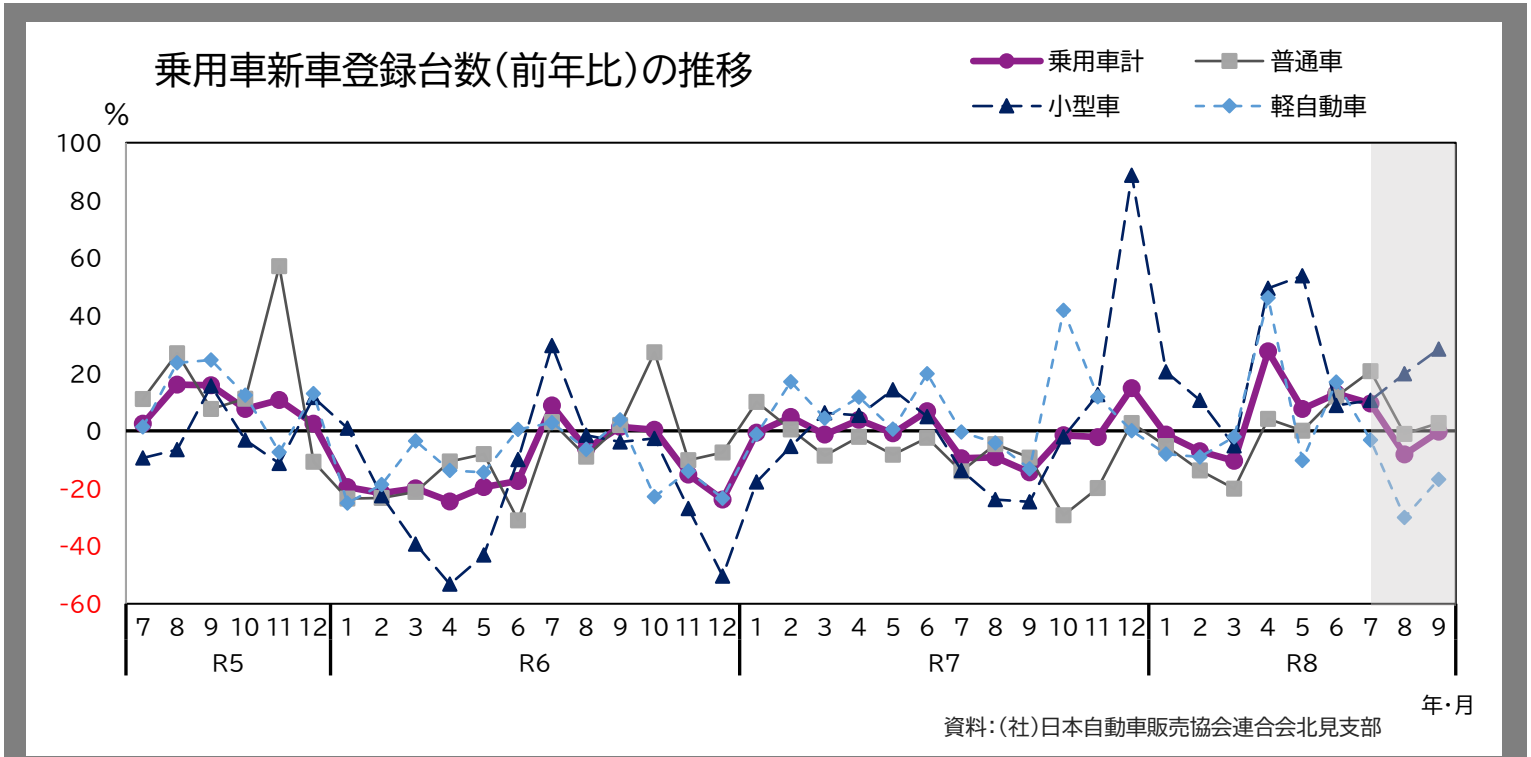
〉〉動向

- 飲食料品は、節約の動きが顕著となり、購入点数が減少していることから、前年を下回っている。
- 生活関連品は、中東情勢の影響により、紙製品（ティッシュ等）の供給が一部滞ったことなどから、前年を下回っている。
- 衣料品は、昨年よりも猛暑日が少なく接触冷感衣料品などの夏物衣料の売れ行きが低調だったことなどから、前年を下回っている。

〉〉企業・関係団体からの生の声（大型小売店）

- 今年6月にオープンした大型量販店との競合により、来店客数が減少している。
- 青果は、本州の長雨の影響を受け、野菜を中心に品薄状態となっており、中には通常価格の4倍以上の価格帯の商品が出てきているなど、売れ行きに影響が出ている。
- 水産物の価格高騰を消費者側もある程度受け入れてきていると思われ、高くても購入する人は一定数いることから、水産部門の売上が大幅に減少する状況には至っていない。
- これまではティッシュ、トイレットペーパー等の売上が好調だったが、中東情勢の影響により、7月後半から紙製品の供給が一部滞ったため、売上は前年を下回った。
- 今年は、昨年より雨の日も多く気温も低かったため、行楽用品や接触冷感衣料品などの夏物衣料の売れ行きが低調だった。
- 衣料品への支出は抑制される傾向にあるものの、キャラクター商品、コラボ商品及びリカバリーウェアなど、通常の商品とは異なる付加価値の高い商品には出費を惜しまない傾向がみられる。

1. 個人消費　～物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある～



資料：(社)日本自動車販売協会連合会北見支部

【前年同期比(7-9月)】

乗用車計	：	＋ 1.0%
普通車	：	＋ 8.1%
小型車	：	＋ 18.6%
軽自動車	：	▲ 16.0%

【構成比(7-9月)】

普通車	：	41.8%
小型車	：	25.8%
軽自動車	：	32.4%

〉〉動向

● 軽自動車は前年を下回っているものの、他の乗用車は引き続き売れ行きが堅調であり、全体では前年を上回っている。(前年同期比＋1.0%)

〉〉企業・関係団体からの生の声

■ 従前は、メーカーの決算期や初売りのタイミングを待って購入する人が多かったが、今は買いたいと思ったタイミングで購入する人や、下取り価格が高いタイミングを逃さず購入する人が増えてきている。(自動車販売業)

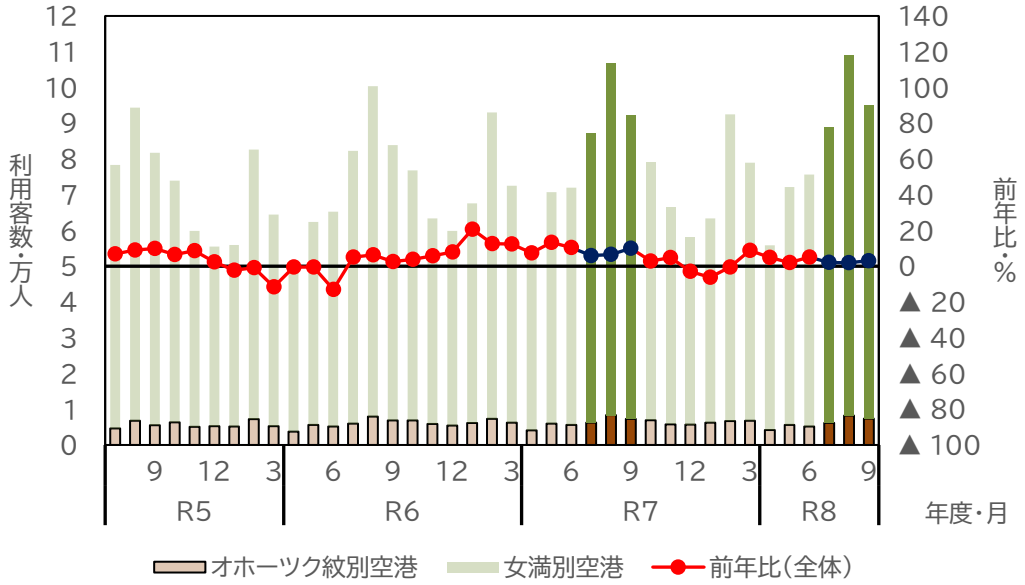
■ 自動車価格の高騰により、中古車目当ての来店客が増えている。自動車にこだわりを持つ人が少なくなっており、単純に移動手段として乗れれば良いという感覚の人が増えていると感じる。(自動車販売業)

■ 最近では、ガソリンスタンドをはじめカーリースを取り扱う店舗が増えてきており、車検などの維持管理費を含めて毎月定額で自由に乗れるため、消費者の選択肢の一つになっている。(自動車関連団体)

■ 今年7月に発生した熊本地震により、熊本県の一部の自動車工場で生産が一時停止したが、そのことが軽自動車が前年を下回った要因の一つになっている可能性も考えられる。(自動車関連団体)

空港利用客数の推移

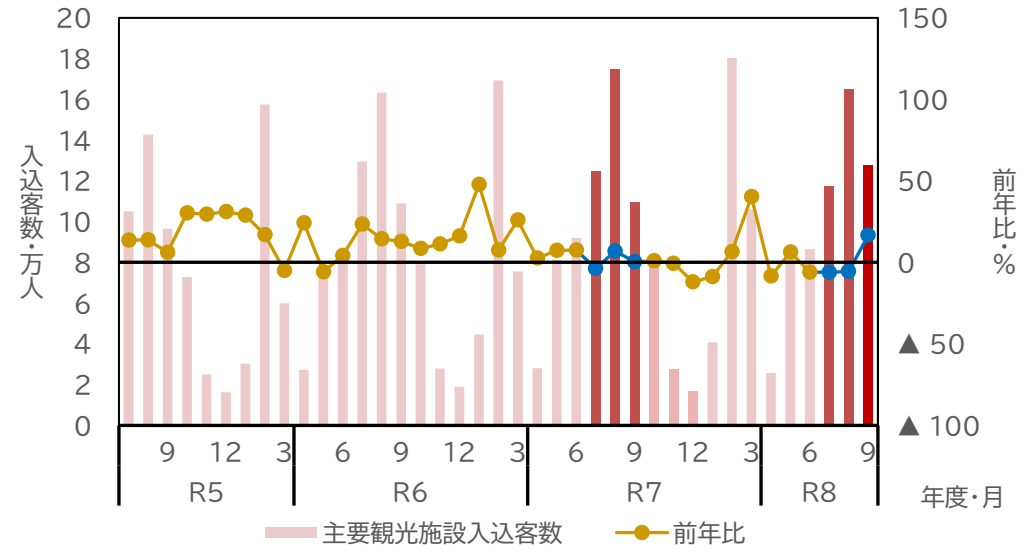
前年同期比(7-9月):+2.3%



資料:北海道エアポート(株)女満別空港事業所、オホーツク紋別空港管理事務所

主要観光施設入込客数の推移

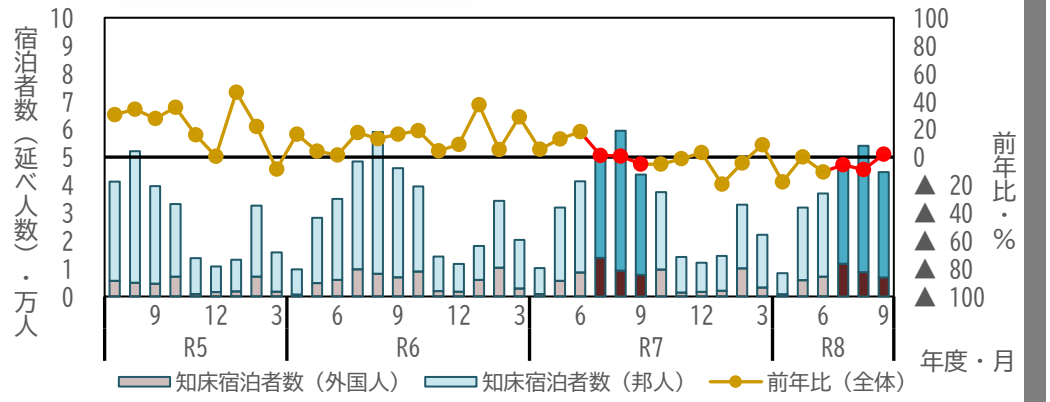
前年同期比(7-9月):+0.2%



資料:網走市観光協会、オホーツク管内各観光施設

知床宿泊者数の推移

前年同期比(7-9月):▲4.7%



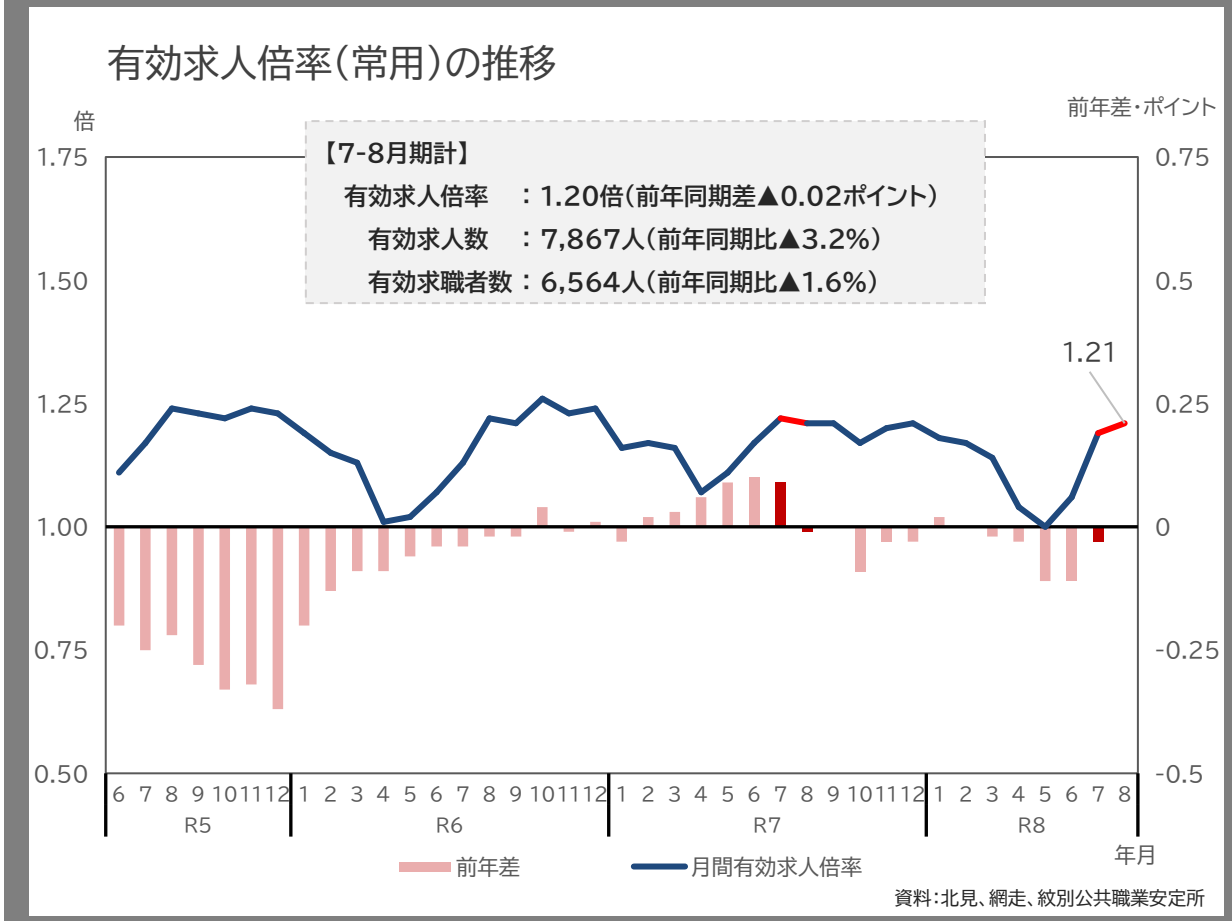
資料:知床斜里町観光協会

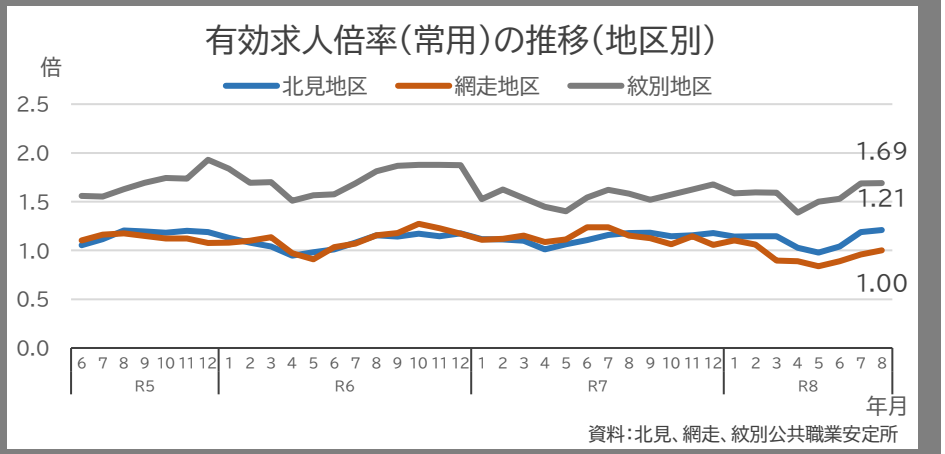
〉〉動向

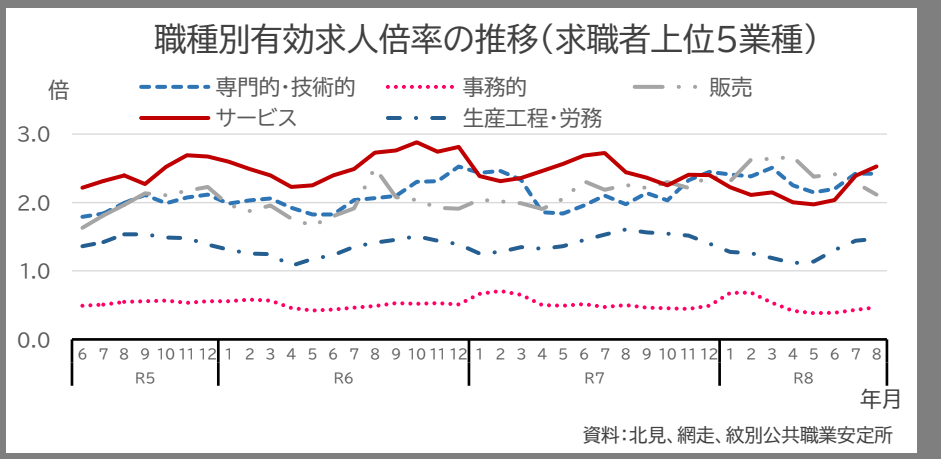
- 空港利用客数は、7～9月の全ての月で、前年を上回っている。
- 主要観光施設入込客数は、7、8月は低調であった一方、9月はシルバーウィークを中心に好調であり、全体では前年比横ばいとなっている。
- 知床宿泊者数は、国内・海外客ともに低調であり、前年を下回っている。

〉〉企業・関係団体からの生の声

- 国内客は、引き続き映画「ゴールデンカムイ」公開(今年3月)の影響があり、網走監獄など作品関連施設への入込が好調であったほか、スポーツ合宿による来訪もみられた。(観光協会)
- 知床地域の入込客数・宿泊者数は前年を下回ったが、全国的にヒグマ出没の報道が目立ったことを受け、道外客を中心にアクティビティ目的の観光を断念し、知床地域への来訪を敬遠した可能性が考えられる。(観光協会・観光施設)
- 近年、知床地域では欧米圏からの来訪が増加しているが、SNSや海外雑誌などの効果により、知床地域の豊かな自然環境や避暑地としての魅力が欧米圏でも認知されてきていることが要因だと考えられる。(知床地域・宿泊施設)
- 宿泊施設では、アメニティや食材などの仕入価格が上昇しており、その分を価格転嫁していることから、宿泊単価が上昇傾向にある。(観光協会・宿泊施設)
- 翌期(10～12月期)は例年どおり閑散期となるが、現時点の宿泊予約は前年を上回っている。(観光協会・宿泊施設)







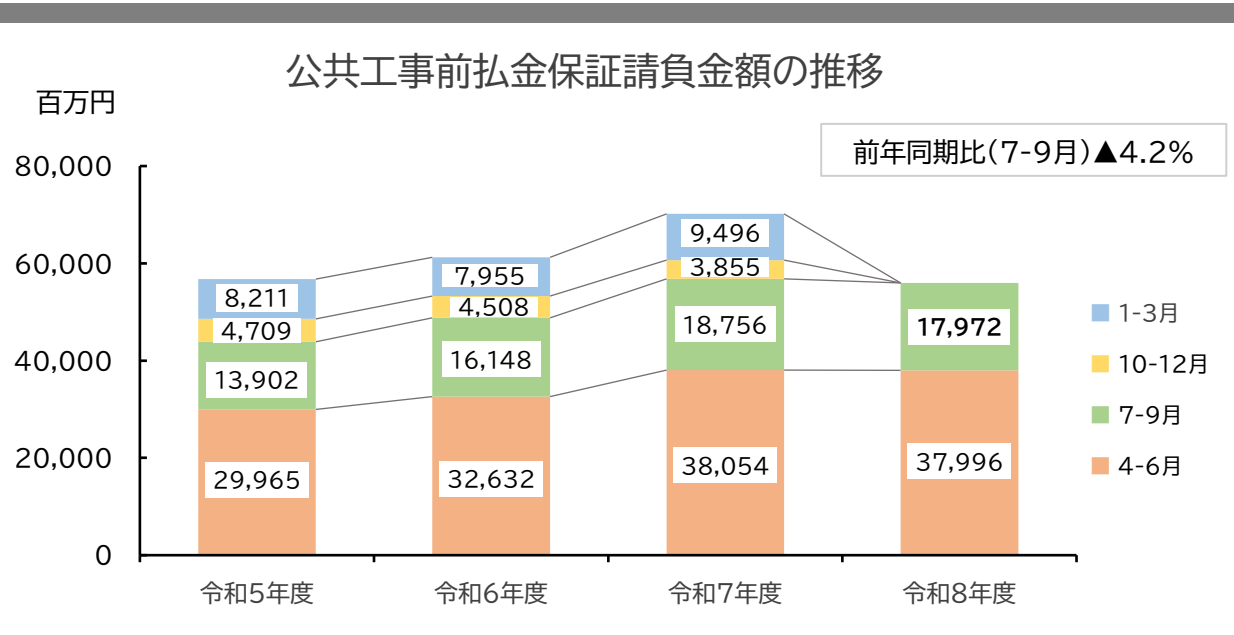
〉〉動向

- 有効求人倍率は、有効求職者数が減少した一方、それを上回って有効求人数が減少したことから、前年を下回っている。

〉〉企業・関係団体からの生の声

- ■ サービス業等は、自動車整備業など資格が必要なところが多く、マッチングしないケースが多いため新規求人が増えている。(公共職業安定所)
- ■ 採用にあたっては、福利厚生の充実が重要だと考えており、採用者の引っ越し費用や毎月の家賃支払いに加え、運転免許取得への助成なども行っている。(食品加工業)
- ■ 以前は大学生の採用をメインとしていた企業が、高校生向けの企業説明会にも参加する動きが見られるなど、人手不足により高校生人材の奪い合いも激しくなっている。(自動車販売業)

4. 公共事業　～前年を下回る～



(資料)北海道建設業信用保証㈱

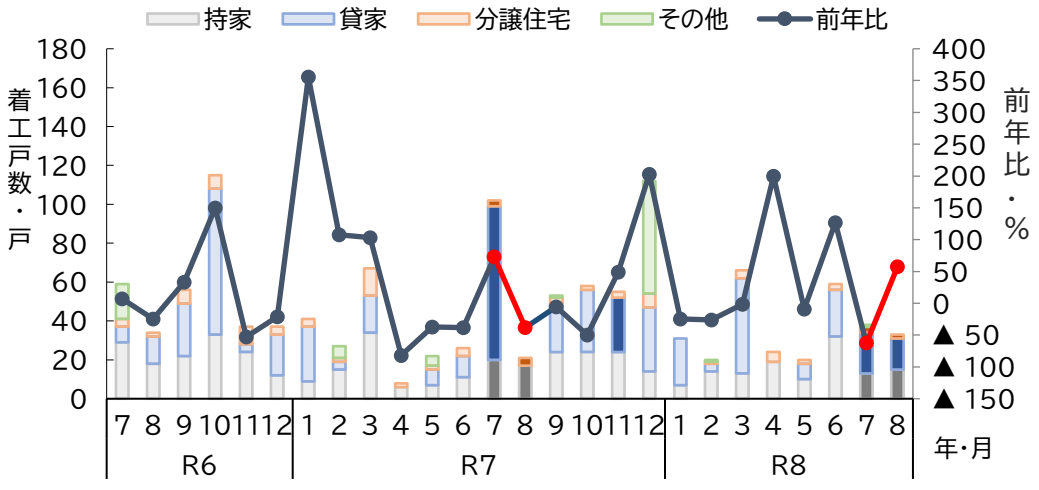
〉〉動向

- 公共工事を前払金保証請負金額でみると、第2四半期は前年を下回っている。

〉〉企業・関係団体からの生の声

- ■ 前期までに人員規模に見合った今年度の受注を確保していたことから、当期以降は公共工事の新規受注を行わない予定であるものの、売上高は受注済み工事により前年並みを見込んでいる。(建設業)
- ■ 前年は猛暑の影響により、現場作業が中断する日もあったが、今年は前年ほどの厳しい暑さとならなかったことから、作業効率が改善し、概ね計画どおりに工事が進捗している。(建設業)
- ■ 今冬は、大型建築工事の着工に伴いコンクリート養生用の灯油使用量が増加する見通しであるが、足元の灯油価格上昇を受け、採算への影響を懸念している。(建設業)

5. 住宅着工　～前年を下回る～



【前年同期比(7-8月)】
新設住宅着工戸数
計:▲42.3%
うち持家:▲24.3%
うち貸家:▲53.2%
うち分譲住宅:▲28.6%

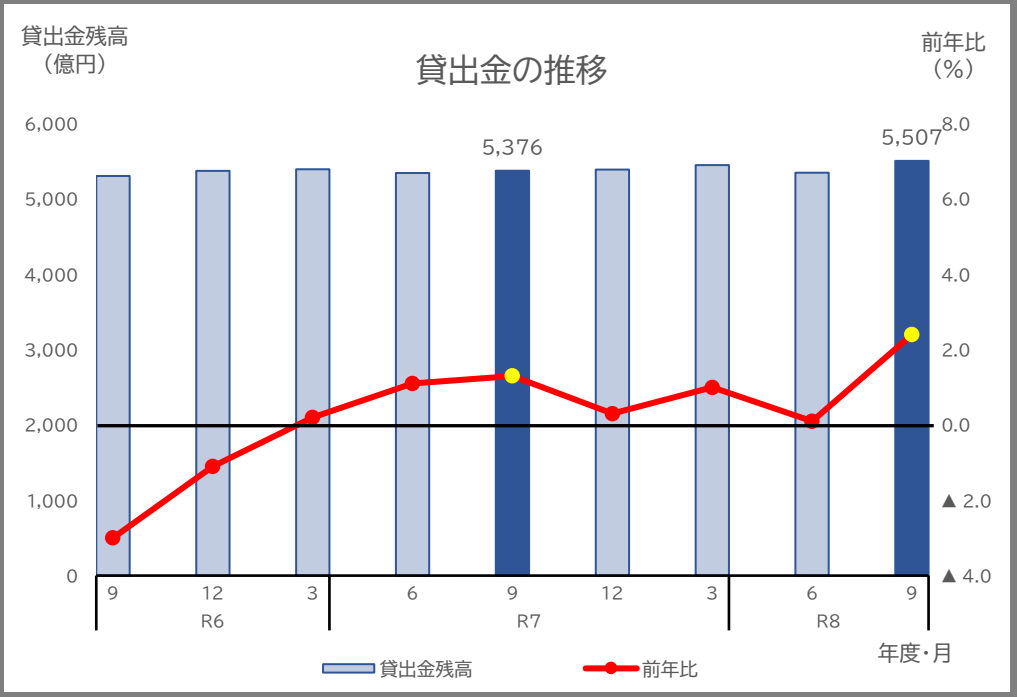
資料:国土交通省「住宅着工統計」

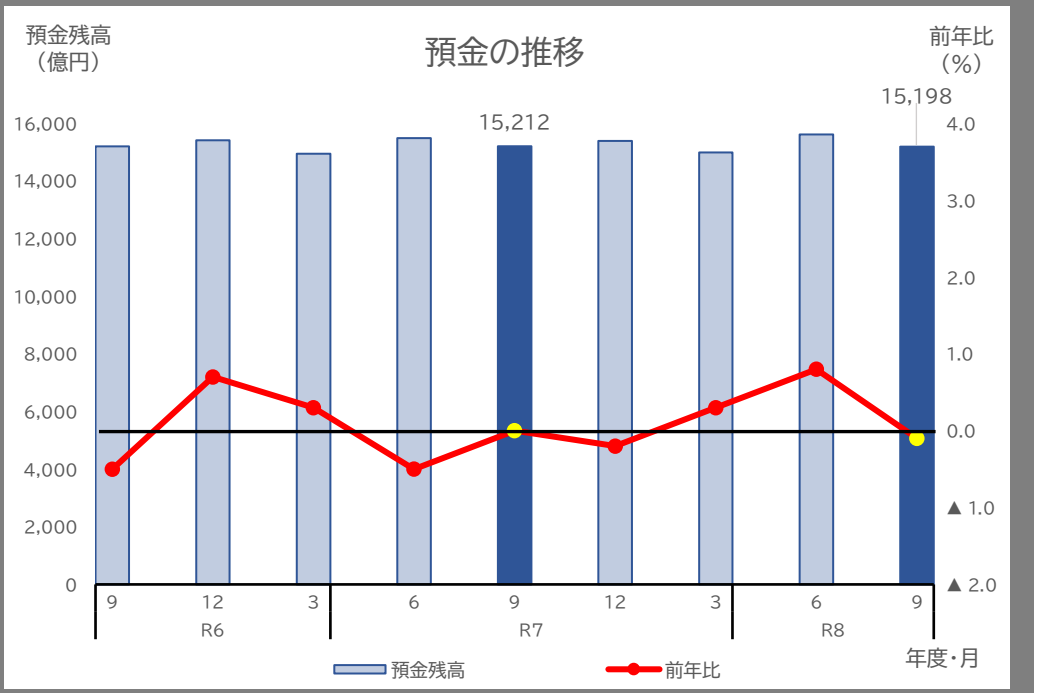
〉〉動向

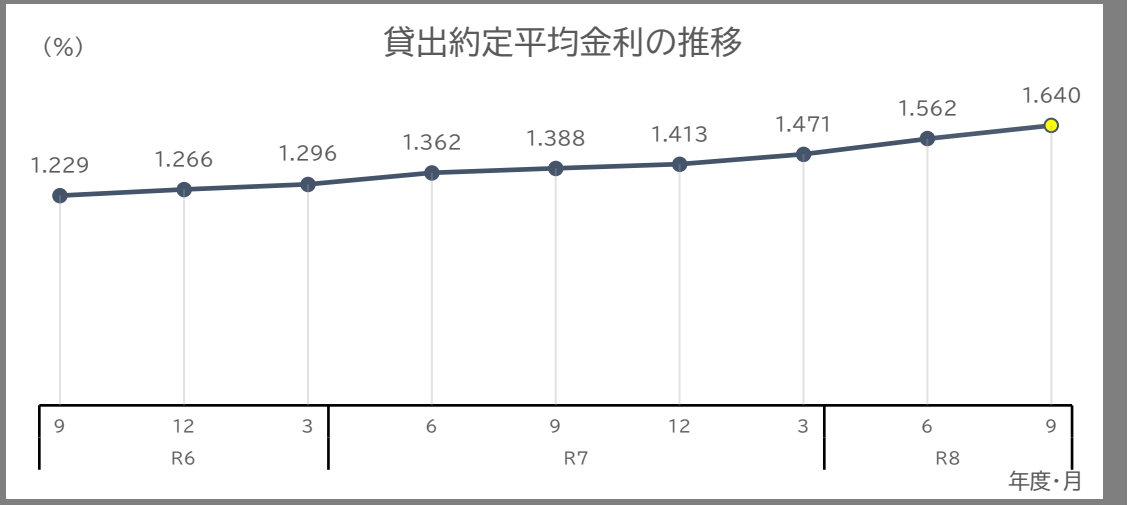
- ●管内3市の新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を下回っている。

〉〉企業・関係団体からの生の声

- ■ 賃貸アパートは、設備の充実した比較的新しい物件や、古くても比較的家賃の低い物件への需要が堅調である一方、築15～20年程度の物件は賃料水準が下がっていないことから需要が弱い。(不動産業)
- ■ 住宅価格の上昇を受け、20～30代の購入者は月々の返済額を抑えるために、40年超の住宅ローンを選択しており、返済期間が長期化している。(金融機関)







貸出金・預金・貸出約定平均金利の推移（銀行・信用金庫）

（単位：億円、%、ﾎﾟｲﾝﾄ）

時点	貸出金残高	前年比	設備資金	前年比	運転資金	前年比	地方公共団体	前年比	預金残高	前年比	貸出約定平均金利	前年差
R4. 3末	5,402	▲ 0.7	2,264	1.8	1,842	▲ 1.8	1,297	▲ 3.2	14,509	3.4	1.131	▲ 0.018
R5. 3末	5,403	0.0	2,353	3.9	1,852	0.6	1,198	▲ 7.6	14,681	1.2	1.148	0.017
R6. 3末	5,385	▲ 0.3	2,381	1.2	1,809	▲ 2.3	1,195	▲ 0.2	14,900	1.5	1.176	0.028
6末	5,289	▲ 0.6	2,379	0.9	1,765	▲ 1.6	1,145	▲ 2.1	15,575	0.9	1.196	0.042
9末	5,307	▲ 3.0	2,391	1.0	1,829	▲ 6.6	1,086	▲ 4.8	15,210	▲ 0.5	1.229	0.067
12末	5,374	▲ 1.1	2,415	1.6	1,840	▲ 4.9	1,118	▲ 0.2	15,423	0.7	1.266	0.107
R7. 3末	5,394	0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	4.4	14,949	0.3	1.296	0.120
6末	5,346	1.1	2,447	2.9	1,698	▲ 3.8	1,200	4.8	15,494	▲ 0.5	1.362	0.166
9末	5,376	1.3	2,435	1.8	1,803	▲ 1.4	1,138	4.7	15,212	0.0	1.388	0.159
12末	5,391	0.3	2,465	2.1	1,789	▲ 2.8	1,138	1.7	15,395	▲ 0.2	1.413	0.147
R8. 3末	5,449	1.0	2,460	1.0	1,760	2.9	1,229	▲ 1.5	14,996	0.3	1.471	0.175
6末	5,350	0.1	2,468	0.9	1,674	▲ 1.4	1,207	0.6	15,621	0.8	1.562	0.200
9末	5,507	2.4	2,478	1.7	1,882	4.4	1,147	0.9	15,198	▲ 0.1	1.640	0.253

※管内に所在する銀行、信用金庫の本支店分の合計。(ゆうちょ銀行を含まない。)
※R8.7判断から、四半期ごとのデータを基に集計。

資料：北海道財務局北見出張所

〉〉金融機関からの生の声

- 資材高騰により、建設業者や住宅ローンの借入申込額が増加しているなど、貸出金は前年を上回っている。
- 仕入価格、光熱費、人件費などの経費が増えていることから、資金繰りの相談件数が増加している。
- 預金金利の引き上げにより、普通預金から定期預金へ預け替えるケースが目立ってきている。

【問い合わせ先】

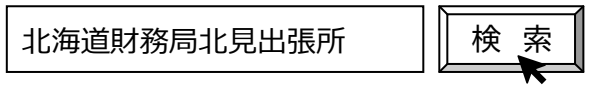
希望ある未来へ　地域と歩む　北海道財務局

財務省　北海道財務局　北見出張所　財務課

〒090-0018　北見市青葉町6番8号　北見地方合同庁舎
TEL　0157(24)4167

本報告は、北海道財務局北見出張所ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス：https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kitami/index.html





オホーツクール

cool!